



Walk with Children

めぐろ



せいび

168号  
2021年4月

「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある

… 生まれる時、死ぬ時、植える時、植えた物を抜く時、泣く時、

笑う時、嘆く時、踊るとき、戦争の時、和睦の時…」

(「コヘレトの言葉」3章より)

校長 シスター 小島 理恵

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが、未だ見えないまま、新年度を迎えることとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

新しい年度の初めにあたり、始業式の中で子ども達には次のような話をしました。

“ 「今日」という日は「本当に有り難い日」だと思います。

新型コロナウイルス感染症はまだまだ収束しそうにありません。ですから、気を抜くはできませんが、最初のスタートが切れた今日、ゴールに向かって進み始めることができたのです。これは本当に有り難いことです。今年、どんなことが待っているのか、まだ分かりませんが、「はじめよければ終わりよし」ということわざがあります。何事も、一番最初が大事であり、物事は最初がうまくいけば、終わりまでうまくいくことが多いということです。ですから、今日は、クラスのみんで、よいクラスを作るための心構えについて考えてみてください。… ”

冒頭の旧約聖書、コヘレトの言葉にあるように、すべてに「時」があります。この1年、一つ一つの「時」を大事にして過ごしたいものです。本校に通う子ども達一人一人が、自分に与えられている「時」を善い事のために使い、有意義な一年となることを心よりお祈りしております。

昨年度は、初めての体験の連続でした。臨時休校が数か月にわたり、子ども達の学習については、保護者の皆様にも大変ご心配をおかけしました。学習できなかった各教科の単元は、文部科学省の通知（令和3年度又は令和4年度までの教育課程を見通した検討）に基づき、今年度のカリキュラムに差し込んで学習いたします。

今年度も、保護者の皆様と心を一つに教育活動を展開してまいります。皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

## 新年度が始まりました

令和3年度が始まりました。始業式を迎え、進級の喜びに満ちた姿を見せてくれた子ども達。そして、入学式を終え、1年生が目黒星美学園小学校の仲間となります。

まだ新型コロナウイルスは収束していませんが、今年度も子ども達と共に、周りの人に気を配り、自己管理をしながら学校生活を送っていきます。そして、感謝と喜びを持って過ごしていきたいと思えます。

4月は新しい先生、友達と出会い、たくさんの喜びが待っています。

月の終わりには、6年生が社会科見学、他学年は遠足と楽しい行事が続きます。

校報「せいび」では、笑顔いっぱいの子どもの姿を伝えていきます。

今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。



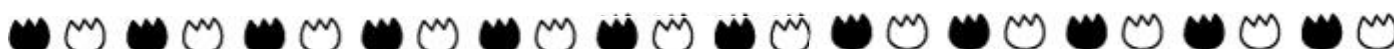
4月の学校より～

### ご復活のお祝い

復活祭はイエス様のご復活されたことをお祝いする大きな喜びの日です。今年は4月4日 日曜日をご復活のお祝い日となっていました。

イエス様は私たちを愛し、全ての人にかかわって苦しみを受け、十字架にかけられ、お亡くなりになりました。それによって、私たち人間も神様からゆるしを受けるお恵みをいただいています。また、イエス様は、「人」としてこのような苦しみを受けてくださったことで、私たちが苦しい時にそれを理解し、助けの手を差し伸べてくださいます。

本校では、4月12日（月）の朝礼時に、ご自分の命をお与えになるほど私たちを愛してくださるイエス様に感謝しつつ、全校で祈りの時を持ちます。



### 全校保護者会

4月10日（土）に全校保護者会が行われます。

全校保護者会は、年度の初めに実施されるととても大切な機会となっています。

当日は以下の3つの内容をお伝えいたします。

- ・ 学校長による本年度の教育活動について
- ・ 新しく奉職する教員の紹介
- ・ サレジオ会司祭 関谷義樹神父様による講話

「道徳教育と宗教教育～宗教なしに道徳は教えられる？～」

今年度も「喜びのある学校」をご家庭と協力して作り、愛を持って子ども達を導いていきたいと思えます。

オンライン（zoom）での保護者会となります。

ご不便をおかけしますが、ご出席をお願いいたします。

（1年生の保護者は、体育館で参加していただきます。）



## 仲良し会で友だちのよさに改めて気づきました

昨年度は、新型コロナウイルス感染症予防を徹底しながら学校生活を送ってきました。そのため、仲良し会は、校庭や体育館をクラスで貸し切って、思いきり体を動かし、友達と楽しい時を過ごすことを目的としました。ドッジボールやキックベース、おにごっこ、今まで当たり前だと思っていた遊びがとても楽しいものだと感じました。

また、友達の大切さ、みんなの存在の大きさを実感したひとときとなりました。



## ありがとう 6年生

卒業する6年生に向けて、心あたたまる行事が行われました。「卒業ミサ」では、6年間お世話になった家族や先生方、そして、大きな恵みを与えてくださった神様に感謝の祈りを捧げました。また児童会を中心に在校生が企画した「6年生を送る会」では、プレゼントを作り、素敵な飾りつけで校内を華やかにしたり、全校で趣向を凝らした「サプライズムービー」を披露したりと、6年生に感謝の気持ちを表しました。オンラインでの実施でしたが、6年生は大きな喜びを感じたことと思います。

そして3月16日に、男女別々の式となりましたが、第62回卒業証書授与式を行いました。卒業する子ども達は、晴れ晴れとした姿でこの日を迎え、巣立っていきました。

6年生の中学校での活躍をお祈りいたします。

卒業ミサ  
サレジオ教会にてお祈りをしました。



6年生を送る会  
生活委員会が  
製作したくす玉を割る  
とメッセージが出てき  
ました。



卒業証書授与式  
一人ひとり校長先生から  
証書をいただきました。



4年生は空中からぶらさげる  
メッセージボードを、2,3年生は  
手作りの桜並木をプレゼント  
しました。

